

平成30年第2回君津富津広域下水道組合議会定例会会議録

1. 招集年月日 平成30年10月18日
1. 招集の場所 君津市議会全員協議会室
1. 開会の日時 平成30年10月18日 午後2時00分

1. 出席議員 14名

1番	石上 壘 君	2番	佐藤 葉子 君
3番	三木 千明 君	4番	山田 重雄 君
5番	下田 剣吾 君	6番	船田 兼司 君
7番	平野 英男 君	8番	石井 志郎 君
9番	小林 喜久男 君	10番	鵜田 剛 君
11番	藤川 正美 君	12番	平野 明彦 君
13番	小泉 義行 君	14番	石井 清孝 君

1. 欠席議員 なし

1. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

管理者	鈴木 洋邦 君	副管理者	高橋 恭市 君
監査委員	磯貝 昭一 君	会計管理者	横倉 芳 君
事務局長	大橋 英男 君	総務課長	石井 太 君
管理課長	石川 幸二 君	建設課長	三ツ俣 光浩 君
総務課主幹	江利角 英生 君	総務課長補佐	神子 丈夫 君
管理課長補佐	三平 正孝 君	管理課処理場長	藤平 道仁 君
建設課長補佐	萩野 正幸 君		

1. 職務のため出席した者の職氏名

総務課主任主事	小泉 絵利香	総務課主任主事	土田 剛史
---------	--------	---------	-------

○

開会及び開議

平成30年10月18日午後2時00分

○議長（平野明彦君） 皆さん、こんにちは。本日は大変お忙しいところご出席をいただきまして、ご苦勞さまでございます。

当組合議会は、10月3日通知のとおり、クールビズを実施しておりますので、ご了承願います。

ただいまの出席議員は14名でございます。よって、定足数に達しておりますので、これより平成30年第2回君津富津広域下水道組合議会定例会を開会し、本日の会議を開きます。

○

諸般の報告

○議長（平野明彦君） 日程に入るに先立ちまして、諸般の報告をいたします。

地方自治法第121条の規定による出席者は、別紙印刷物によりご了承願います。

次に、監査委員から平成30年5月から7月分までの現金出納検査の結果報告がありました。下水道組合総務課にその写しがございますので、ごらんください。

次に、本日管理者からの議案の送付があり、これを受理いたしましたのでご報告いたします。

なお、議案につきましてはお手元に配付のとおりでございます。

次に、本日、写真撮影の申し出があり、これを許可いたしましたので、ご了承願います。

以上で諸般の報告を終わります。

○

(参照)

君 富 下 総 第 1 9 1 号

平成30年10月18日

君津富津広域下水道組合議会

議 長 平 野 明 彦 様

君津富津広域下水道組合

管理者 鈴 木 洋 邦

議案の送付について

平成30年第2回君津富津広域下水道組合議会定例会に付議する議案について別紙のとおり送付します。

記

認定第1号 平成29年度君津富津広域下水道組合会計歳入歳出決算の認定について

報告第1号 平成29年度決算に基づく君津富津広域下水道組合資金不足比率の報告について

○

議事日程の決定

○議長（平野明彦君） 次に、本日の日程につきましては、会議規則第20条の規定により議長において

定め、印刷配付してございます。

その順序に従いまして会議を進めてまいりますので、ご了承願います。

○

管理者挨拶

○議長（平野明彦君） ここで管理者から、開会に当たり挨拶があります。

管理者、鈴木洋邦君。

（管理者鈴木洋邦君登壇）

○管理者（鈴木洋邦君） 開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日、平成30年第2回君津富津広域下水道組合議会定例会を招集しましたところ、議員の皆さんにはご多用のところご出席をいただき、まことにありがとうございます。

本定例会に提案いたします議案は、お手元の議案書のとおり、平成29年度決算に係る認定1件と報告1件でございます。後ほど提案理由の説明をさせていただきますので、十分なるご審議をいただきますようお願いを申し上げまして、開会に当たっての挨拶といたします。

よろしく願いいたします。

○議長（平野明彦君） 以上で管理者の挨拶は終わりました。

○

日程第1 会期の決定

○議長（平野明彦君） 日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

会期につきましては、本日1日としたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○議長（平野明彦君） ご異議ないものと認めます。

よって、会期は本日1日と決定いたしました。

○

日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（平野明彦君） 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により、議長において、8番、石井志郎君、9番、小林喜久男君を指名いたします。

○

（提案理由説明、補足説明、質疑、討論及び採決）

日程第3 認定第1号及び報告第1号

○議長（平野明彦君） 日程第3、認定第1号及び報告第1号を一括議題といたします。

なお、議案の朗読につきましては省略いたしますので、ご了承願います。

直ちに提案理由の説明を求めます。

管理者、鈴木洋邦君。

（管理者鈴木洋邦君登壇）

○管理者（鈴木洋邦君） 議案第1号及び報告第1号について、一括して、提案理由の説明を申し上げます。

認定第1号 平成29年度君津富津広域下水道組合会計歳入歳出決算の認定について。

本議案は、予算現額25億8,283万1,000円に対しまして、歳入総額27億1,675万323円、歳出総額22億3,554万1,610円をもちまして平成29年度決算となりましたので、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見をつけ、議会の認定をお願いするものでございます。

次に、報告第1号 平成29年度決算に基づく君津富津広域下水道組合資金不足比率の報告について、本件は平成29年度決算に基づき、本組合の資金不足比率を算定いたしましたので、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により、監査委員の意見をつけて議会に報告するものでございます。

以上、認定第1号及び報告第1号について、一括して提案理由の説明を申し上げましたが、これらにつきまして事務局長から補足説明をさせますので、よろしくご審議をいただきますよう、お願いを申し上げます。

○議長（平野明彦君） 以上で管理者の提案理由の説明が終わりましたので、補足説明を求めます。

事務局長、大橋英男君。

（事務局長大橋英男君登壇）

○事務局長（大橋英男君） それでは、認定第1号及び報告第1号について補足説明を申し上げます。

初めに、認定第1号 平成29年度君津富津広域下水道組合会計歳入歳出決算の認定について説明申し上げますので、決算書の2ページ、3ページをお開きください。

決算の概要ですが、歳入の決算額は、1款分担金及び負担金から8款財産収入までを合計いたしまして、予算現額25億8,283万1,000円に対し、収入済額は27億1,675万323円でございます。

次に、4ページ、5ページをお開きください。

歳出の決算額は、1款議会費から5款予備費までを合計いたしまして、予算現額25億8,283万1,000円に対し、支出済額は22億3,554万1,610円で、4ページ欄外の歳入歳出差引残高は4億8,120万8,713円でございます。

次に、6ページ、7ページをお開きください。

それでは、決算の内容について、事項別明細書によりまして、歳入からご説明いたします。

1款分担金及び負担金、1項負担金、1目市負担金ですが、収入済額7億9,400万円は、組合格約第14条の規定による組合構成市からの負担金で、内訳は、君津市5億5,400万円、富津市2億4,000万円でございます。

2目下水道事業受益者負担金ですが、収入済額1,899万4,430円の内訳は、現年度分1,891万630円、滞納繰越分8万3,800円で、現年度分、滞納繰越分はともに第3負担区及び第4負担区分でございます。

また、収入未済額34万5,080円の内訳は、現年度分マイナス3,520円、滞納繰越分34万8,600円で、現年度分のマイナス3,520円は、収入未済額2万2,280円に対し、二重納付による還付未済額が2万5,800円生じたためでございます。

なお、不納欠損額22万9,600円は消滅時効により処分したものでございます。

3目認可区域外流入負担金の収入済額616万2,926円は、木更津市畑沢南地区の事務受託に係る負担金でございます。

2款使用料及び手数料ですが、調定額8億4,077万5,157円に対し、収入済額は8億1,868万7,416円

で、165万9,927円を不納欠損処分し、収入未済額は2,042万7,814円でございます。

1 項使用料、1 目下水道使用料ですが、調定額 8 億4,032万5,347円に対し、収入済額は 8 億1,823万8,606円でございます。

現年度分の収入済額は 8 億818万2,654円で、前年度比6,905万516円の増となりました。なお、現年度分の収入未済額は1,291万1,382円でございます。

また、滞納繰越分の収入未済額は751万5,432円でございます。

不納欠損額の165万9,927円については、消滅時効により203世帯、462件分を処分したものでございます。

2 項手数料、1 目下水道手数料ですが、調定額40万5,000円に対し、収入済額40万4,000円で、指定工事店証交付手数料などがございます。

なお、収入未済額1,000円は、倒産等による収入未済額2,000円に対し、二重納付による還付未済額が1,000円生じたためでございます。

次に、8 ページ、9 ページをお開きください。

3 款国庫支出金ですが、調定額 3 億52万円に対し、収入済額は 2 億677万円、収入未済額9,375万円となっておりますが、これは29年度事業の一部を30年度へ繰り越したことによるものでございます。

収入済額の内訳は、君津地区 1 億8,952万4,000円、富津地区1,724万6,000円で、対象事業は後ほど投資的事業一覧のところでご説明申し上げます。

4 款県支出金は、科目を予算計上したもので、収入はございませんでした。

5 款繰越金ですが、調定額、収入済額ともに 4 億6,127万5,631円で、内訳は、君津市分 3 億9,255万5,326円、富津市分6,872万305円でございます。

6 款諸収入ですが、調定額、収入済額ともに1,665万9,920円で、内訳は、預金利子 2 万1,633円、10ページ、11ページをお開きください。消費税還付金1,618万1,185円、東京電力からの原発事故関連損害賠償金36万5,040円などであります。

7 款の組合債ですが、調定額、収入済額ともに 3 億9,420万円で、対象事業は後ほど投資的事業一覧のところでご説明申し上げます。

以上、歳入合計は予算現額25億8,283万1,000円に対し、調定額28億3,316万2,744円、収入済額27億1,675万323円、収入済額の予算現額に対する割合は105.2%、調定額に対する割合は95.9%でございます。

続きまして、歳出についてご説明申し上げますので、12ページ、13ページをお開きください。

1 款議会費の支出済額178万1,716円は、組合議会議員14名に係る報酬、費用弁償などの議会運営費でございます。

2 款総務費ですが、予算現額9,670万円に対し、支出済額は9,370万7,481円で、執行率は96.9%でございます。

1 項総務管理費、1 目一般管理費の支出済額は9,337万4,841円で、主な支出といたしましては、管理者ほか特別職の報酬及び事務局長を含めた総務課職員合計 8 名分の人件費のほか、14ページ、15ページをお開きください。13節委託料の例規集データ更新及び追録等作成業務委託料75万6,000円、固定資産整理算定業務委託料675万1,080円、14節使用料及び賃借料の事務機器等借り上げ料183万6,629円、19節負担金補助及び交付金の庁舎維持管理負担金336万6,997円、27節公課費の平成28年度分消費

税納付及び平成29年度消費税中間納付1,222万3,400円でございます。

2項監査委員費、1目監査委員費の支出済額33万2,640円は、監査委員2名に係る報酬及び費用弁償でございます。

次に、16ページ、17ページをお開きください。

3款土木費ですが、予算現額17億7,535万9,000円に対し、支出済額は14億4,155万2,416円で、執行率は81.2%ですが、これは翌年度への繰越繰越5,200万円、繰越明許費1億7,258万円及び落札差金が主な要因でございます。

1項下水道管理費、1目公共下水道維持管理費の支出済額2億975万3,712円は、公共下水道の維持管理に要した経費でございまして、主な支出といたしましては、管理課職員8名分の人件費のほか、8節報償費の第4負担区受益者負担金納期前納付報奨金235万5,200円、11節需用費の管渠等の修繕料1,024万4,053円、13節委託料の君津、富津両市の水道部に委託しております下水道使用料賦課徴収事務委託料5,772万7,042円、人見第1、第2ポンプ場等維持管理業務委託料2,617万9,200円、木更津市に委託しております、かずさアカデミアパーク下水処理業務委託料582万7,465円、18ページ、19ページをお開きください。15節工事請負費の人孔蓋改築工事3,467万7,720円、16節原材料費の緊急時処理用原材料364万896円、19節負担金補助及び交付金の水洗便所改造事業補助金で36件、88万5,000円などでございます。

2目都市下水路維持管理費の支出済額83万9,600円の主なものは、13節委託料の清掃業務委託料46万4,400円でございます。

3目処理場維持管理費の支出済額5億4,347万5,940円は、終末処理場の維持管理に要した経費で、主な支出といたしましては処理場職員2名分の人件費のほか、11節需用費の機械・設備等に係る修繕料6,413万9,778円、光熱水費9,026万7,624円、20ページ、21ページをお開きください。13節委託料の終末処理場維持管理業務委託料2億4,672万8,129円、脱水汚泥等処分業務委託料9,818万9,398円、処理水の放流に伴う周辺海域の環境監視調査及び生物実験調査業務委託料1,331万4,240円などでございます。

2項下水道建設費、1目公共下水道新設改良費の支出済額6億8,748万3,164円は、公共下水道の投資的事業に係る経費でございまして、主な支出といたしましては、建設課職員9名分の人件費のほか、22ページ、23ページをお開きください。13節委託料、上段に記載の29年度から31年度までの継続事業でございます君津富津終末処理場施設整備長寿命化更新事業委託料ほか11件に係る委託料4億7,310万4,800円でございます。

なお、平成30年度への継続費繰越5,200万円は、君津富津終末処理場施設整備長寿命化更新事業に係るもので、繰越明許費1億7,258万円は、君津污水2号幹線築造事業に係るものでございます。

15節工事請負費、八重原雨水幹線築造工事ほか3件に係る工事請負費1億4,446万5,120円でございます。

次に、24ページ、25ページをお開きください。

4款公債費、1項公債費、1目元金の支出済額5億2,436万1,498円は長期債の償還元金で、2目利子の支出済額1億7,413万8,499円は長期債の償還利子でございます。

5款予備費でございますが、平成28年度決算に基づく消費税の確定申告納付に伴う総務費に不足が生じたので、632万円を充当したものでございます。

以上、歳出合計は予算現額25億8,283万1,000円に対し、支出済額は22億3,554万1,610円で、執行率は86.6%でございました。

以降、26ページから31ページにかけては歳入歳出決算の地区別内訳となっています。

次に、33ページをお開きください。

実質収支に関する調書ですが、3の歳入歳出差引額4億8,120万8,713円から、4の翌年度へ繰り越すべき財源の君津污水2号幹線築造事業に係る繰越明許費一般財源分173万円を差し引いた5の実質収支は4億7,947万8,713円でございます。

次に、34ページ、35ページをお開きください。

財産に関する調書ですが、決算年度末現在高における土地は8万7,052.05平方メートル、建物につきましては1万2,543.48平方メートル、地上権4.07平方メートル、車両7台で、昨年度との増減はございませんでした。

次に、36ページをお開きください。

平成29年度決算に係る主要施策成果説明書についてご説明申し上げます。

初めに、1、概要は、当組合の平成29年度末における下水道事業の概要でございます。

当組合は、下水道の役割である生活環境の改善、浸水の防除及び公共用水域の水質の保全のため、昭和48年に事業認可を受け、平成元年に供用開始し、処理区域の拡大を図ってまいりました。その結果、平成29年度末の処理区域面積は、君津市では合流297ヘクタールと分流645ヘクタールを合算し、942ヘクタール、富津市では380ヘクタールとなっております。

また、処理区域人口Bを行政人口Aで除した普及率は、君津市が56.6%、富津市が18.0%でございます。

次に、37ページをごらんください。

2、職員及び給与についてですが、(1)職員数については、平成29年度の常勤職員数は、君津市派遣職員20名、富津市派遣職員7名、合計27名で、組合で採用した職員はおりません。

(2)給与の状況については、平成28年4月から、君津市派遣職員は職務の級に応じた給与の削減等を引き続き実施しており、富津市派遣職員は給与制度の適用を組合給与条例から派遣元である富津市の給与条例に変更しております。

次に、38ページをお開きください。

3、終末処理場等についてですが、昨年度、終末処理場で処理した年間総処理水量は988万8,180立方メートルで、うち雨水が133万9,690立方メートル、汚水が854万8,490立方メートルでございます。

終末処理場における総処理水量のうち、平成29年度の使用料徴収の対象となった年間有収水量は558万3,119立方メートルでございます。

また、汚水処理費を年間有収水量で除した汚水処理原価は1立方メートル当たり150.0円、使用料収入を年間有収水量で除した使用料単価は1立方メートル当たり146.6円でございます。

4、下水道使用料についてですが、上段に使用料改定に伴う平成29年9月1日からの料金体系を、下段に収納状況を記載しており、その収納率は現年度分98.43%、過年度分を合わせた収納率で97.37%でございます。

5、受益者負担金についてですが、現年度分、過年度分ともに第3負担区及び第4負担区の収納状況でございます。

次に、39ページをごらんください。

6、地方債についてですが、29年度、投資的事業のために3億9,420万円の借入れを行いました。一方、償還については、平成28年度末現在高合計87億1,912万6,000円に対し、5億2,436万1,000円を償還し、29年度末の地方債の残高は85億8,896万5,000円でございます。

地区別内訳残高は、君津市分で66億4,639万3,000円、富津市分で19億4,257万2,000円でございます。次に、40ページ、41ページをお開きください。

7、公共下水道投資的事業一覧ですが、地区別内訳となっております。

主な事業を申し上げますと、両市負担で実施しております①⑫の君津富津終末処理場施設整備長寿命化更新事業、⑩⑭の公共下水道事業計画変更事業のほか、君津地区では②君津污水2号幹線築造事業、③八重原雨水幹線築造事業、④中野一丁目污水枝線築造事業、⑤人見污水枝線築造事業などを、また、富津地区では⑬污水枘設置事業を実施いたしました。

なお、国庫対象事業及び起債対象事業は、財源内訳のそれぞれの欄に金額の記載のある事業でございます。

そして、41ページの次に添付してございますのが、君津地区及び富津地区の平成29年度の事業箇所図となっております。

このうち、④中野一丁目污水枝線築造事業の一部が完了したことにより、本年10月1日から中野一丁目の一部区域で下水道の処理を開始いたしました。

次に、報告第1号 平成29年度決算に基づく君津富津広域下水道組合資金不足比率の報告についてご説明申し上げますので、議案つづりの2ページをお開きください。

この資金不足比率は、平成19年6月に制定されました地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、公営企業の経営の健全性を判断するために設けられた指標でございまして、その団体の資金の不足額を事業の規模で除したもので、経営健全化の基準値は20%とされております。

次に、議案参考資料の1ページをお開きください。

資金不足比率算定表でございしますが、平成29年度決算では、昨年度までと同様に、実質収支が黒字であることから、(6)に記載の数字はプラスの数字となり、最下段に記載の資金不足比率は算定されません。

以上で、認定第1号及び報告第1号についての補足説明を終わります。

よろしくご審議くださいますよう、お願い申し上げます。

○議長（平野明彦君） 以上で補足説明が終わりました。

次に、認定第1号 平成29年度君津富津広域下水道組合会計歳入歳出決算の認定について、代表監査委員から審査結果についての報告をお願いします。

代表監査委員、磯貝昭一君。

(監査委員磯貝昭一君登壇)

○監査委員（磯貝昭一君） 監査報告を申し上げます。

ただいま認定に付されております平成29年度君津富津広域下水道組合会計歳入歳出決算の審査の結果をご報告いたします。

平成29年度君津富津広域下水道組合会計歳入歳出決算について、去る8月29日に審査を行いました。その結果につきましては、お手元に配布してあります決算審査意見書のとおりであり、決算書及び

その他法令で定められた書類は関係法令に準拠して作成され、決算に関する計数は関係諸帳簿及び証拠書類に符合しており、計数も正確であると認められました。

また、予算の執行についても、おおむね所期の目的に沿い、効率的に執行されているものと認められました。

以上、決算審査の結果報告といたします。

○議長（平野明彦君） 代表監査委員の審査結果の報告は終わりました。

次に、認定第1号に対する質疑でございますが、質疑の通告がありましたので、発言を許可いたします。

8番、石井志郎君。

○8番（石井志郎君） 2点、ご質問させていただきます。

1点目は17ページ、下水道使用料賦課徴収業務委託について、金額ではなくて事業についてお聞きいたします。

平成31年3月31日をもって、君津、富津及び4市の水道事業が広域事業団に統合されるわけでございます。平成30年度は、今、実行中で、来年3月31日をもって平成30年度の決算が終わるわけでございますが、それ以降、来年4月以降の下水道使用料賦課徴収事業について、いまだ説明がございませんが、徴収方法など、下水道組合としての考えについてお聞きいたします。

○議長（平野明彦君） ただいまの質疑に対する答弁を求めます。

事務局長、大橋英男君。

○事務局長（大橋英男君） お答えいたします。

下水道使用料賦課徴収事務委託について、当組合の下水道使用料賦課徴収につきましては、地方自治法第252条の14第1項の規定により規約を定め、君津市と富津市にその事務を委託しているところであります。平成31年4月1日から、千葉県木更津市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市を構成団体とする広域連合企業団の事業開始が予定され、水道事業は4市の水道部から承継されることから、使用料賦課徴収事務については広域連合企業団への委託に向けて、現在、協議を行っているところでございます。

以上でございます。

○議長（平野明彦君） 8番、石井志郎君。

○8番（石井志郎君） ありがとうございます。

今後、君津、富津両市、また、市議会にご説明があると思われまます。平成31年4月1日に新しく水道事業体となります。速やかな対応をお願いしたいと思います。

続きまして、2点目、36ページ、平成29年度決算にかかわる主要施策成果説明書から、富津市の全体計画面積と全体計画人口、その中で整備計画と普及率について、下水道組合の考え方をお聞きしたいと思います。

○議長（平野明彦君） 事務局長、大橋英男君。

○事務局長（大橋英男君） お答えいたします。

現在の君津富津広域下水道組合公共下水道全体計画は、平成21年度に策定された平成36年度を目標年次とする汚水処理適正構想に基づき、平成23年度に策定されたもので、富津市域の推定行政人口4万1,000人、公共下水道計画区域面積1,849ヘクタール、処理区域内人口2万8,300人となっております。

す。

なお、平成27年度に汚水適正処理構想の見直しがあり、新たに平成46年度を目標年次とする構想が策定されたことにより、公共下水道全体計画の変更について千葉県と協議を行っているところであります。変更案では、富津市域の推定行政人口3万4,000人、公共下水道の計画区域面積945ヘクタール、処理区域内人口1万2,600人としております。

富津市の下水道普及率は、平成30年3月31日現在で18.0%であります。

整備計画につきましては、未整備区域についての状況等を勘案し、今後の課題も含めて検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（平野明彦君） 8番、石井志郎君。

○8番（石井志郎君） ありがとうございます。いろいろ市によって課題を抱えていると思います。そういう中で、今後も下水道事業が円滑に行われるようご努力いただくようお願いして、質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（平野明彦君） 以上で通告による質疑は終わりました。

ほかに質疑ございますか。

質疑もないようでございますので、質疑を終結したいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○議長（平野明彦君） ご異議ないものと認め、質疑を終結いたします。

次に、認定第1号に対する討論を行います。

討論ございますか。

（「なし」との声あり）

○議長（平野明彦君） 討論もないようでございますので、討論を終結し、採決いたします。

認定第1号 平成29年度君津富津広域下水道組合会計歳入歳出決算の認定について、原案のとおり認定することに、賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

○議長（平野明彦君） 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり認定することに決定いたしました。

次に、報告第1号 平成29年度決算に基づく君津富津広域下水道組合資金不足比率の報告について、代表監査委員から審査結果について報告をお願いいたします。

代表監査委員、磯貝昭一君。

（監査委員磯貝昭一君登壇）

○監査委員（磯貝昭一君） 報告第1号につきましてご説明いたします。

平成29年度決算に基づく君津富津広域下水道組合資金不足比率の審査の結果をご報告いたします。

平成29年度決算に基づく君津富津広域下水道組合資金不足比率について、去る8月29日に歳入歳出決算とあわせて審査を行いました。その結果につきましては、お手元に配付してあります経営健全化審査意見書のとおりでございます。

資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められました。

平成29年度の資金不足比率は、資金不足が発生していないため算定されず、特に、指定する事項はございません。

以上、資金不足比率審査の結果を報告いたします。

○議長（平野明彦君） 監査委員の審査結果の報告が終わりました。

次に、報告第1号 平成29年度決算に基づく君津富津広域下水道組合資金不足比率の報告について、に対する質疑でございますが、通告による質疑はございませんでしたので、質疑を終結したいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○議長（平野明彦君） ご異議ないものと認め、質疑を終結いたします。

以上をもちまして、本定例会に付議されました案件の全部を議了いたしました。

○

管理者挨拶

○議長（平野明彦君） ここで閉会に当たりまして、管理者から挨拶があります。

管理者、鈴木洋邦君。

（管理者鈴木洋邦君登壇）

○管理者（鈴木洋邦君） 閉会に当たりまして、一言、御礼のご挨拶を申し上げます。

本定例会に提案いたしました議案につきましては、原案どおり承認いただき、まことに、ありがとうございました。

引き続き、事業を着実に推進するとともに、未整備地区の解消に向けて努力してまいり所存でございますので、議員皆様のご指導とお力添えをお願い申し上げます。

さて、本定例会は私の在任中の最後の議会となりましたが、皆様には多大なるお力添えをいただき、まことにありがとうございました。皆様からお寄せいただきましたご厚情、ご鞭撻に対しまして、心から感謝を申し上げる次第でございます。

結びになりますけれども、君津富津広域下水道組合のますますの発展と、皆様のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます、閉会に当たっての挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

○議長（平野明彦君） これをもちまして、平成30年第2回君津富津広域下水道組合議会定例会を閉会といたします。

どうもご苦労さまでございました。

平成30年10月18日午後2時50分

閉会

上記会議の顛末を録し相違ないことを証するためここに署名する。

平成30年10月18日

君津富津広域下水道組合議会議長 平 野 明 彦

署 名 議 員 石 井 志 郎

署 名 議 員 小 林 喜久男